

城南地区の文化財めぐり

雄大な赤城山南麓に広がる城南地区は、旧石器時代や縄文時代から平安時代に至る遺跡(集落跡)が数多く発見されています。大室公園の前・中・後二子古墳は群馬を代表する6世紀代の重要な古墳として国史跡に指定されています。また、平安時代初めに赤城南麓で発生した弘仁9年(818)の地震の痕跡も発見されています。

そして古代の赤城南麓には赤城山を神とする神社が建立されるようになりました。二宮赤城神社は赤城南麓における信仰の中心的神社として繁栄し、上野国二宮として古代の延喜式にもその存在が認められています。しかし、戦国時代には度重なる戦禍などにより数度にわたり社殿を失いました。

天仁元年(1108)には浅間山の噴火により上野国の田畠はことごとく埋没してしまいました。中世初期のその災害の爪痕は城南地区でもあちこちで発見されています。女堀は荒廃した刈名荘の水田を再開発するため上泉付近から国定付近まで約13kmにわたって開削された農業用水路です。それは12世紀前半頃秀郷一族の武士団によって開削されましたが未完に終わりました。しかし、女堀は当時の土木工法や土木技術などを知る上で重要な遺跡として昭和58年国史跡に指定されました。

城南地区には、中世から近世にかけ信仰に伴う多くの石仏や石塔などが民衆によって建立されるようになりました。しかし、近年の土地改良事業などによりその多くは寺社へ移転されています。近代以降は寺子屋の頌徳碑や多くの業績に対する顕彰碑、また水害復興記念碑や句碑なども建立されています。歴史遺産が造られた時代やその背景などに思いを馳せ、この資料を参考に郷土の文化財を訪れてみましょう。

文化財めぐりの名称一覧表(行政区順)

No	名称	No	名称	No	名称	No	名称
1	産泰神社	27	荒子杉山古墳	53	大室神社	79	慈照院
2	大黒塚古墳	28	荒子塘碑	54	下宿の念仏塔	80	八王子の薬師堂
3	丸岡の石仏	29	薬師堂	55	多田の庚申塔	81	新土塚城跡
4	泉沢神社	30	荒子砦跡	56	多田の観音堂	82	中澤直次顕彰碑
5	円明寺	31	松野自得句碑	57	宿下の石仏	83	今井城跡
6	阿弥陀如来坐像	32	荒子神社	58	井出上神社	84	今井神社
7	向原の石殿・石仏	33	瀬下慶斎の碑	59	百庚申塔	85	欠番
8	御神幸道	34	新屋の五輪塔	60	石綿常磐頌徳碑	86	安養院
9	丸山の石仏	35	荒砥富士山古墳	61	原組の石仏	87	中西の笠薬師
10	富田の宝塔	36	伊勢山古墳	62	飯土井寮と石仏	88	稻荷神社
11	上区寮の石仏	37	北組霊園の石仏	63	道林の輪廻塔	89	本郷の荒神様
12	御殿山古墳	38	大室元城跡	64	赤石城跡	90	泉蔵寺
13	穴墓地の石仏	39	めいがん様	65	下組の庚申塔	91	芳切薬師堂
14	お稲荷山古墳	40	北宿の石仏	66	赤城神社	92	旧共愛宣教師館
15	三柱神社	41	大室城跡	67	二十二夜塔	93	富士嶽浅間神社
16	正法院	42	大室神社	68	百石屋敷跡	94	大塚田の寮
17	吹地寮の石仏	43	双体道祖神	69	新井橋の庚申塔	95	近戸神社
18	宮下の石仏	44	白山の石仏	70	女堀跡	96	島の天神宮
19	少将塚	45	地田栗の石仏	71	霊符尊神社	97	島の石仏
20	北原沼碑	46	天神の石仏	72	東街道	98	東組の地蔵堂
21	赤城神社	47	観昌寺	73	青面金剛塔	99	宮原の薬師堂
22	水害復興記念碑	48	大室古墳公園	74	無量寿寺	100	宮原の諏訪社
23	耕読堂之碑	49	湯清寺	75	二宮赤城神社	101	荒砥川改修碑
24	中原の石仏	50	荒砥147号墳	76	宮本の薬師堂	102	今宮八幡宮
25	観音廃寺	51	松野自得句碑	77	宮本の観音石殿	103	蓮花院
26	双体道祖神	52	最善寺	78	宮西の薬師堂	104	須永の馬頭観音

※No85は欠番

